



開講式にて挨拶をする大野会長

道
神
青

第44号

北海道
神道青年協議会
平成21年3月31日

平成二十一年度 北海道神道青年協議会新春研修会

平成二十一年二月十八日、平成二十一年度の北海道神道青年協議会新春研修会が、北海道神社庁にて開催された。道内各支部の青年会より四十六名の会員が参加した。

開講式に引き続き『四島（しま）へのおもい』と題し、講師として千島歯舞諸島居住者連盟根室支部青年部部長米屋聰先生をお招きし、御講演を戴いた。

米屋先生のお母様は歯舞群島勇留島の御出身で、先生は根室でお生まれになり、専修大学商学部を卒業後根室に帰郷され、御実家の米屋商店に勤務される。以後、社団法人千島歯舞居住者連盟根室支部の役職を歴任され、現在は同連盟根室支部の青年部長並びに理事、また同連盟根室市管内青年部連絡協議会副会長、根室市北方領土返還要求推進協議会理事事務、勇留島和合会理事など多くの役職に就かれている。

御講演では千島の歴史と北方領土の問題についてのお話を戴き、大黒屋光大夫の話になると一段と熱が入り、受講生も熱心に聞き入っていました。またビデオの中では実際に千島諸島より強制的に引き上げさせられた人々の当時の様子や悲惨さなどを語られている様子が上映された。

千島・北方領土の問題について、現状は厳しく、今までは解決が

難しい状況であることを改めて痛感した。

昨年、洞爺湖にてサミットが開催されたが、すぐ目の前にある北方領土の問題は一度も取り上げられなかつた。政府がどれほど領土というものの意識が希薄であるかがわかる。

国政を預かる政治家及び官僚の意識の改革、行政の取り組み、教育を含めて早急な見直しが求められている。

日本人の認識においても北方領土とはどういう島なのか。我が國固有の領土、それを何故守らなければならぬのか。国家は何故領土、領域を守らなければならないのか。この基本的なことを今一度認識を新たにしなければならない。このままではあまりにも危険である。自分の領土を取られて奮起しない国家はまさに「押せば引く国」。

我々には神職というよりも一人の日本人として、領土返還の気運を盛り上げていく責務がある。今回の米屋先生の御講演を受講し、千島・北方領土の歴史、特に島民の人々の想いを再認識でき、大変有意義な研修になった。これから特に若者の私たちが積極的に発信し、世界の世論に訴えていかなければこの問題の進歩は得られない。

上川神道青年会
旭川神社 櫛宣 芦原 大記

会長就任の御挨拶

中 村 文 彦



先ずもつて、北海道神道青年協議会には常日頃より格別の御理解と御協力を賜っております事、厚く御礼申し上げます。

昨年十月に開催された臨時総会に於いて、次期道神青協会長として選出・承認を賜り、向後二年間会長の席をお預かりする事と相成りました。身に余る光栄という思いと共に責務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

歴代会長を始め先輩諸賢は時代に直面する諸問題に真摯に取り組まれ、道内は言うまでもなく全国の場に於いてもその手腕を存分に発揮され、多くの功績を残してこられました。改めて敬意を表する次第でございます。

先づもつて、北海道神道青年協議会には常日頃より格別の御理解と御協力を賜つております事、厚く御礼申し上げます。

さて、本年四月には当会が発足致しまして六十年の節目を迎えます。まさに還暦というこの年、今まで原点に立ち返り発足当時の会の精神を再認識し、先輩方の熱き思いを指針と致したく存じます。

組織に於いては各部会の充実・神職としての資質向上或いは日々の神明奉仕に役立つような研修会の開催・通信やホームページを始めとする情報発信・時局問題への迅速なる対応・会員相互の親睦を図る事業等を開催し、青年神職即ち「斯界の尖兵」として真姿顕現に向け、斯界の更なる充実と発展に努めて参る所存でございます。

結びにあたり、新役員共々倍旧の御理解御協力を賜りますよう切にお願いを申し上げ、大変言葉足らずではございますが就任の御挨拶とさせて頂きます。

もとより浅学非才の身であり甚だ力量不足の私ではございますが、先輩諸賢が積み上げてこられた御実績を今一度再確認し、出来うる限りではございますが、更なる積み上げをして参りたいと考えております。微力ながらも会の責務を全うすべく、執行部一丸となり専心努力を尽くす所存でございますので、猶一層の御指導御鞭撻を賜りますよう、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

さて、本年四月には当会が発足致しまして六十年の節目を迎えます。まさに還暦というこの年、今まで原点に立ち返り発足当時の会の精神を再認識し、先輩方の熱き思いを指針と致したく存じます。

組織に於いては各部会の充実・神職としての資質向上或いは日々の神明奉仕に役立つような研修会の開催・通信やホームページを始めとする情報発信・時局問題への迅速なる対応・会員相互の親睦を図る事業等を開催し、青年神職即ち「斯界の尖兵」として真姿顕現に向け、斯界の更なる充実と発展に努めて参る所存でございます。

結びにあたり、新役員共々倍旧の御理解御協力を賜りますよう切にお願いを申し上げ、大変言葉足らずではございますが就任の御挨拶とさせて頂きます。

北海道神道青年協議会 六十周年記念事業概要

一、奉告祭の斎行

平成二十一年四月二日 斎行（於 北海道神宮）

一、記念大会の開催

平成二十一年四月二日 開催（於 ホテルライフオート札幌）

第一部 記念式典

第二部 記念講演

「日本のあるべき国姿」

講師 森本 敏先生（拓殖大学大学院 教授）

第三部 祝賀会

一、道内神社神職名簿第五版（顔写真入）の発刊

平成二十一年四月 発刊

一、北海道神社庁 庁長杯争奪親睦スポーツ大会の開催

平成二十年十月九日 開催

一、記念誌の発刊

平成二十一年七月 発刊予定

一、北方領土関連事業

・キヤラバン隊による啓発活動の実施

平成二十一年十月四日～八日 実施

・早期復帰祈願祭の斎行

（於 根室市～北見市～士別市～旭川市～岩見沢市～

・帯広市～苫小牧市～函館市～小樽市～札幌市）

・平成二十一年十月八日 斎行（於 北海道神宮）

・パネル展の開催

平成二十一年十月一日～十一月四日 開催

（於 北海道神宮境内）

一、神道青年全国協議会 北方領土関連事業への助成

平成二十一年七月末予定（於 根室市）

会長退任の御挨拶

大野清徳



道神青協会長の重職をお預かりさせて頂き、間もなく二年の歳月が流れようとしています。この間、非学凡才な私にお付き合い下さいました役員皆様、そして温かいお力添えを頂戴しました諸先輩はじめ関係各位の皆様、二年間誠に有り難うございました。

そして今期最大の事業となる六十年記念大会を目前に控え、皆様方にはあと少しお力を貸し戴きまして、節目のお祝いと、そして次期への引き継ぎができればと今一度気が引き締まる思いであります。

北方領土に隣接するものの使命として、今一度北方領土早期復帰に向けて喚起を促すと共に会員皆様の力強い運動が展開されることです。

願いを込めて行つた事業のキャラバン隊においては、試行錯誤の中また時間も超過しながら、皆様方に全貌を明らかにされないままの総会での御承認となつたことは私の不徳の致すところでありました。しかしながら、役員会のなかではギリギリまで最大の効果を発揮する事業は何かという点で協議できたことは今期役員会での貴重な財産になつたことと感じているところです。

道神青協会長の重職をお預かりされて頂きました。以前より神青協の同志が各都府県で展開している北方領土に対する熱心な事業を目の当たりにして、北海道ではどうであろうと尋ねてみると、根室に行つたことのない会員が半数以上おり、よく見てみると殆どが若い会員であります。そこで六十周年事業の主眼として「北方領土」に関連したことをということで各事業を計画させて頂きました。

中でも北方領土の早期復帰への願いを込めて行つた事業のキャラバン隊においては、試行錯誤の中また時間も超過しながら、皆様方に全貌を明らかにされないままの総会での御承認となつたことは私の不徳の致すところでありました。しかしながら、役員会のなかではギリギリまで最大の効果を発揮する事業は何かという点で協議

されたことで各事業を計画させて頂きました。中でも北方領土の早期復帰への願いを込めて行つた事業のキャラバン隊においては、試行錯誤の中また時間も超過しながら、皆様方に全貌を明らかにされないままの総会での御承認となつたことは私の不徳の致すところでありました。しかしながら、役員会のなかではギリギリまで最大の効果を発揮する事業は何かという点で協議

ます。

さて、今期は記念大会の準備と様々な事業を展開させて頂きました。以前より神青協の同志が各都府県で展開している北方領土に対する熱心な事業を目の当たりにして、北海道ではどうであろうと尋ねてみると、根室に行つたことのない会員が半数以上おり、よく見てみると殆どが若い会員であります。そこで六十周年事業の主眼として「北方領土」に関連したことをということで各事業を計画させて頂きました。

ここから御期待を申し上げるところであります。そして、北方領士のみならず、竹島、尖閣諸島、対馬等々の領土領海問題に対して目を向けながら、神青協やそれぞれの地域と連携した運動にも参画して参りましょう。

戦後復興を遂げたこの国は、少しその方向性を見失っています。青年会は今後その方向性を本来の道に戻すべく大きな期待が寄せられています。還暦を迎えた道神青協の第一歩がその大きな使命を担つていてることを次期中村会長に引き継ぎをさせて頂き、素晴らしい第一歩を踏み出しき、大きな成果を上げられますことを心より御祈念申し上げます。

結びに、紙面からの御礼で大変失礼ではありますが、関係各位の皆様に衷心より厚く御礼申し上げまして、退任の御挨拶とさせて頂きます。二年間本当に有り難うございました。

・大きさ B2判
(およそ縦750mm × 横540mm)
・枚 数 二十一枚



パネル展（於 北海道神宮）

道神青協創立六十周年の記念事業で作成致しました北方領土に関するパネルは、無料で貸出します。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

平成二十一年度神道青年全国協議会
中央研修会

並びに北海道神道青年協議会研修旅行

平成二十年度神道青年全国協議会中央研修会が名古屋で開催されるのに併せ、北海道神道青年協議会研修旅行が開催されました。

初日には熱田神宮に正式参拝し御造営の最中でありましたが、その境内地の広さ、参拝者の多さに圧倒されました。

参拝後は社務所にご案内を戴き、熱田神宮の戦時中のお話しなどを承り、殊に「御」を米軍の爆撃から守るため防空壕に移されたり、敗戦間近となると占領軍に「御」を渡してはならないと、極秘に岐阜のお宮に移動されたという事実に驚きと感銘を受けた次第です。



熱田神宮にて

中央研修会は「修理固成せ（つくりかためなせ）」→国づくりは人づくり、模索から実践へ」と題し開催され、全国から三五〇名を超える会員が集いました。

第一講には、造形作家の夢堂由里子先生に御講演を賜り、我々に街づくりのリーダーとなつて欲しいと、夢を叶える為に必要な『あいうえお A B C D E』を教えて戴きました。

想 (idea・発想をする)
興味 (interest・興味を抱く)
動く (walking・自分で動く)
情熱 (excite・情熱を持つ)
決める (owner・自分で自身で決める)

- A (assessment・環境を考える)
- B (brain・良い才能を集めな)
- C (consensus・意見をまとめな)
- D (database・どれだけデータが
あるか)

Economy (economy・社会のリンクする)

夢堂先生はこれらをいかに自分と照らし合わせて生きて いけるかが大事と熱く話されました。

宗教の社会的貢献が大事であり、
神社には資源があると話され、神
職が聞き上手となり、伝え上手、
おまかせ上手となる事、つまり相
手の話を聞き、相手に伝統を伝え、
相手から信頼される事が大事であ
り、他にも、文化的資源、自然環
境的資源を生かし、神社と地域を
げられました。

吉田選手と榮先生は、三連覇を成し遂げた時は、涙を流しながら君が代を歌うと約束してくれました。そして、第三講には皇學館大學社会福祉学部長・教授の櫻井治男先生より「地域社会の元気を神社から取り戻さう」と題し、御講演を賜りました。現在の地域社会に元気がない原因として、櫻井先生は少子高齢社会、経済の国際化と金融不安、「地域力」の減退を挙

また第二講には、アテネ・北京オリンピック金メダリストである吉田沙保里選手や伊調姉妹などのコーチである日本レスリング協会女子教化委員長の栄和人先生が、夢の大切さ、また大きな夢ほど大きな挫折感を味わうが、その試練を乗り越えて欲しいと訴えられました。また講演の終わりには吉田選手も登壇され、質疑応答の際に次回ロンドンオリンピックの優勝時には是非とも声高らかに君が代を歌つて欲しいという要望があり、

身近にして行くべきであると説かれました。

現在百年に一度と言われる不景氣の中、家庭の教育がきちんと出来ない保護者、また、道徳心が欠落し、常識を失っている若者が大勢いるこの国は正に危機に立たされていきます。こうした時代であるからこそ、全国八万に点在する神社の一つ一つが地域の核となって、失われつつある日本という国の原点を見つめ直し、ささやかであつても、お宮の年中行事を通して、地域の活性化や、街づくり、人づくりに寄与する為に、我々青年神職は貢献して参らなければならぬと実感した次第です。



中央研修会会場にて

道青通信

委員・北方遷宮啓発委員
道神青協第十三回役員会

(於 北海道神社序)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・宗片理事・坪山理事・中島理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷田理事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓発委員

六月二十日
愛知県神道青年会創立六十周年記念大会
(於 熱田神宮会館)

田湯参与・中村副会長

六月二十六日
・神青協第十二回事業委員会

(於 神社本厅)

大野会長

六月二十七日
・神政連北海道本部時局研修会

(於 彌彦神社)

中村副会長

六月二十九日
・日本会議北海道本部時局研修会

(於 札幌グランドホテル)

中村副会長

七月二十九日
・平成二十年度北陸神道青年協議会研修会

(於 富山観光ホテル)

中村副会長

七月二十九日
・神青協第十四回役員会

(於 北海道神社序)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・田湯理事・堀澤理事・中島理事・赤澤理事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓発委員

・道神青協第十四回役員会

(於 北海道神社序)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・宗片理事・堀澤理事・菅野理事・藤川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓発委員

・神青協正副会長委員長議長会議

(於 神社本厅)

大野会長

七月三十日
・神青協第十四回役員会・創立六十周年記念事業実行委員会

(於 國學院大學院友会館)

大野会長

八月六日
・神青協第十二回遷宮委員会

(於 道明寺天満宮)

田湯参与・大野会長・中村副会長

・神青協第十三回事業委員会

(於 带廣神社)

大野会長・加藤副会長

・道神青協役員との合同懇親会

(於 札幌市)

田湯参与・大野会長・中村副会長・加藤副会長・山口事務局長・三橋遷宮委員

七月十七日
・北海道神社序札幌支部青年神職文月会創立六十周年記念大会

(於 札幌後楽園ホテル)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓発委員

六月二十四日
・道神青協第十五回正副会長事務局長部会長議長会

(於 北海道護國神社社務所)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓発委員

七月二十二日
・道神青協第十四回正副会長事務局長部会長議長会

(於 北海道神社序)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓發委員

八月二十一日
・道神青協第十五回正副会長事務局長部会長議長会

(於 グランプリンスホテル赤坂)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓發委員

九月四日
・道神青協創立六十周年記念事業

(於 北海道神宮)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓發委員

十月四日
・道神青協創立六十周年記念事業

(於 北海道神宮)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓發委員

十一月一日
・道神青協創立六十周年記念事業

(於 神社本厅)

田湯参与・大野会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓發委員

十二月一日
・道神青協創立六十周年記念事業

(於 神社本厅)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓發委員

一月一日
・道神青協創立六十周年記念事業

(於 神社本厅)

田湯参与・大野会長・中村副会長

・神青協正副会長委員長議長会議

(於 國學院大學院友会館)

大野会長

二月一日
・神青協第十四回役員会・創立六十周年記念事業

(於 國學院大學院友会館)

大野会長

二月二日
・神青協第十二回遷宮委員会

(於 道明寺天満宮)

田湯参与・大野会長・中村副会長

・神青協第十三回事業委員会

(於 带廣神社)

大野会長・加藤副会長

・道神青協役員との合同懇親会

(於 札幌市)

田湯参与・大野会長・中村副会長・加藤副会長・山口事務局長・三橋遷宮委員

八月九日
・全国氏子青年協議会第四十六回定期大会

(於 神社本厅)

大野会長

・神青協第十五回役員会・創立六十周年記念事業実行委員会

(於 神社本厅)

田湯参与・大野会長・中村副会長

・神青協創立六十周年記念事業

(於 北海道神宮)

『北方領土復帰祈願キヤラバン隊』
(於 道内各地)

根室市役所・金刀比羅神社・美幌神社・北見神社・士別神社・北海道護國神社・上川神社・岩見沢神社・帶廣神社・静内神社・樽前山神社・函館八幡宮・函館護国神社・龜田八幡宮・住吉神社・豊足神社・手稲神社・新琴似神社・諏訪神社・彌彦神社・札幌護国神社・北海道神宮

十日八日
・神青協第十四回役員会

(於 國學院大學院友会館)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓發委員

十一月九日
・道神青協創立六十周年記念事業

(於 國學院大學)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓發委員

十二月九日
・道神青協創立六十周年記念事業

(於 國學院大學)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓發委員

一月九日
・道神青協創立六十周年記念事業

(於 國學院大學)

田湯参与・大野会長・後藤副会長・加藤副会長・中村副会長・山口事務局長・田湯理事・手塚(建)理事・手塚(警)理事・赤澤理事・前川監事・會田監事・三橋遷宮委員・北方遷宮啓發委員

二月九日
・道神青協創立六十周年記念事業

(於 國學院大學)

田湯参与・大野会長・中村副会長

・神青協第十四回役員会・創立六十周年記念事業

(於 國學院大學)

大野会長

三月九日
・神青協第十四回役員会・創立六十周年記念事業

(於 國學院大學)

田湯参与・大野会長・中村副会長

・神青協第十四回役員会・創立六十周年記念事業

(於 國學院大學)

大野会長

四月九日
・神青協第十四回役員会・創立六十周年記念事業

(於 國學院大學)

田湯参与・大野会長・中村副会長

・神青協第十四回役員会・創立六十周年記念事業

(於 國學院大學)

大野会長

・神青協第十四回役員会・創立六十周年記念事業

(於 日吉大社)

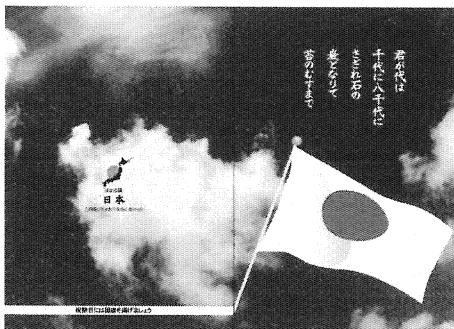
委員会

一、道神青協創立六十周年記念特別会補正
予算案承認の件
一、次期会長並びに監事選出の件

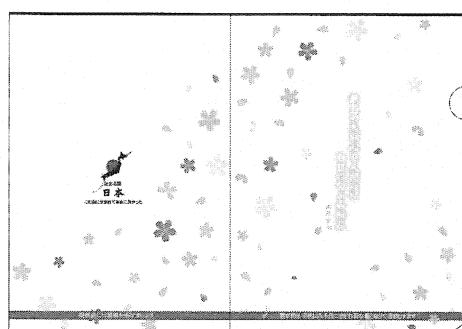
神道青年全国協議会 事業頒布品

国旗・国歌啓発クリアファイル(A4判)

☆ 青 空 ☆



☆ さ く ら ☆



1組(10枚入り) 頒価 900円(送料別)

※付録として「日本の祝日と国旗・国歌のハンドブック」(10冊)が付きます。

【ご注文・お問合せ】

神道青年全国協議会 総務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1丁目1番2号 神社本庁内
電話: 03-3379-8011 FAX: 03-3379-8299
<http://www.shinseikyo.net>



北海道神道青年協議会
星置神社 宮司 加藤剛 副会長

全国青年神職野球大会が、昨年十一月二十七日に永井承邦実行委員長(神青協前会長)主催にて、明治神宮外苑軟式球場に於いて、全国より八チーム(北海道・東北・東京・関東・東海・近畿・北陸・九州中国)、一二一名参加のもと開催された。当時は生憎の雨模様のため、グラウンドコンディションは万全では無かったが、全国から集まつた選手たちは相当練習を重ねたかのようなりました。球好ちは、優勝は関東チーム・準優勝は近畿チーム・第三位は九州中国チームでした。因みに、北海道チームは残念ながら全敗に終わりました。しかし、試合の結果は残念ではあります。この度の結果は、試合を通じて全国の青年神職との親睦が深められる事ができ、有意義な大会となりました。

全国青年神職野球大会

平成二十年度

協賛神社一覧

【札幌】 北海道神宮・豊平神社・札幌諏訪神社・札幌村神社・彌彦神社・信濃神社・札幌護國神社・篠路神社・琴似神社・江南神社・新琴似神社・手稻神社・西野神社・相馬神社・厚別神社・白石神社・廣島神社・野幌神社・錦山天滿宮・石狩八幡神社・当別神社・厚田神社・上手稻神社・列々布神社・西岡八幡宮・右山神社・札幌祖靈神社・南線神社・澄丘稻荷神社・砂原稻荷神社・雷公神社・嚴島神社・一本栗地主神社・七重湯倉神社・三社神社・福島大神宮・尻岸内八幡神社・八幡神社・鹿部稻荷神社・砂原稻荷神社・雷公神社・江別神社・農榮神社・千歳神社・**【道南】** 函館八幡宮・亀田八幡宮・**【檜山】** 北海道神社庁檜山支部・**【後志】** 住吉神社・龍宮神社・小樽稲荷神社・水天宮・天満宮・潮見ヶ浜・海津見神社・上磯八幡宮・岡神社・豊足神社・高島稻荷神社・余市神社・仁木神社・琴平神社・美國神社・泊稻荷神社・岩内神社・小沢神社・俱知安神社・京極八幡神社・喜茂別神社・留寿都神社・真狩神社・狩太神社・日名八幡神社・大鳥神社・壽都神社・**【空知】** 夕張神社・岩見沢神社・市来知神社・滝川神社・江部乙神社・赤平神社・出雲神社・由仁神社・**【釧路】** 嵐島神社・弟子屈神社・厚岸神社・三吉神社・阿寒神社・厚岸田神社・陸別神社・本別神社・足寄神社・浦幌神社・十勝神社・大樹神社・茂岩神社・幕別神社・**【根室】** 根室神道青年会

長沼神社・樺戸神社・新十津川神社・霧多布神社・昆布森神社・音別神社・深川神社・芽生神社・秩父神社・大國神社・雨竜神社・沼田神社

川上神社・霧多布神社・昆布森神社・音別神社・大國神社・雨竜神社・沼田神社

【根室】根室神道青年会

道神青協ホームページ

道神青協では、公式ホームページを立ち上げ、広く青年会の活動を広報し、また、一般の閲覧者の方にも役立つ情報

報を掲載するなどして、インターネットを通した教化活動を行っています。

現在は掲載内容に一部編集

中の箇所等があり、更新が滞っておりますが、随時更新をしておりますが、また徐々にコンテンツを増やしていく、有効に御活用戴けるホームページ運営を目指す所存でございます。

是非、より多くの皆様に御閲覧戴けますようお願い致します。

■北海道神道青年協議会
公式ホームページ
<http://www.doshinsei.jp/>



先ずは、道神青協通信第四十四号発行にあたり、社務御多忙の中御寄稿戴きました役員・会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

今号は年度末の通信という事もあり、掲載事項が多く、割付などで読みにくいくらいかとは思いますが、何卒御了承下さい。次年度より新たに中村会長を始めとする新体制で会務を執行しておりますが、諸先輩・会員の皆様には引き継ぎ変わらぬ御支援御協力の程、宜しく御願い申し上げます。

(中島)

題字『道神青』について

本通信は、平成四年二月一日創刊にあたり、当時の中野伊亮北海道神社庁長に御揮毫戴いたものです。

【十勝】帶廣神社・大正神社・川西神社・芽室神社・御影神社・清水神社・静内神社・三石神社・浦河神社・様似住吉神社・住吉神社

【日高】義経神社・大神宮社・氷川神社・高島稻荷神社・水川神社・鹿追神社・士幌神社・池上神社・陸別神社・本別神社・足寄神社・幕別神社・**【北海道】** 北海道神道青年協議会事務局
FAX ○一一一三八三一二四六七
E-Mail Info@doshinsei.jp